JR 新駅施設自由通路工事、泉 2 号陸橋等の工事費及びボールパーク市道西裏線の道路工事費等の増、市内福祉施設等に対する支援金の給付に要する経費、賃上げなどの影響による指定管理者への支援に要する経費、小学校及び中学校の燃料費等の給食運営経費の増など、25 億 2,825 万円の補正予算を可決。一般会計予算は合計で 332 億 8,619 万円となりました。北広島市及び石狩教育研修センター組合公平委員会委員の選任についての同意案 1 件、北広島市西部地区義務教育学校設置基本構想策定検討委員会設置条例の制定について、北広島市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例及び北広島市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、北広島市レンタサイクル条例を廃止する条例について、消防通信指令事務の委託について等、議案 23 件を可決。市民ネットワークが提案した「国主導による有機フッ素化合物（PFAS）対策の早期実施を求める意見書」を含め合わせて 2 件の意見書案を可決しました。2025 年度予算に係る議案 7 件は、予算審査特別委員会で審議され、すべて原案可決となりました。

質 問	答 弁
<p>1. 景観行政団体への移行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観行政団体の移行に向けた取り組みの中で、これまで多世代対象の市民アンケート、市内を巡るフィールドワークなど、様々な市民参加の取組が行われてきた。スケジュールとしては 2026 年度に景観条例の制定及び景観計画策定の予定だが、2025 年度はどのように進めていくのか伺う。 ・再生エネルギー施設設置などの開発への規制、抑制については、景観計画策定等検討委員会でも規制や罰則、また土地財産の所有者の権利等、話題が上がった。太陽光発電設備や産業廃棄物など、景観を阻害する開発行為から景観を守る取り組みについて、どのような視点で検討を進めるのか伺う。 <p>2. 北広島市（第 6 次）総合計画中間年度の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間年度の見直しの進め方についてどのようなスケジュールで進めるのか伺う。 ・子ども会議で出された意見や提案について、中間見直しにおいて、どのように生かされていくのか伺う。 <p>3. 子ども・子育て施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012 年に北広島市子どもの権利条例が制定され、以来、条例を踏まえた様々な取り組みが行われてきたと認識している。子どもの権利条例について、子ども、保護者、幼稚園・保育園・学校の教職員、施設職員、市民への周知はどの程度広がったと認識しているのか伺う。 ・子ども会議において、会議テーマごとに担当課が企画進行しているが、市職員の子どもの権利への理解は、どの程度進んでいるのか、認識について伺う。 ・こども基本法が施行され、こども大綱等を踏まえた自治体こども計画の策定が進んでいる。「北広島市こども計画骨子案」は、子どもたちに最も近い行政として、子どもに向き合い、成長を支え応援する行政の姿勢と施策を示すものとする。北広島市こども計画の基本目標、基本施策は、北広島市子どもの権利に関する推進計画をはじめとする関連計画から組み込まれているが、新たに設けた目標及び施策はあるのか伺う。 ・骨子案では、基本的な考え方における七つの基本目標、30 の基本施策が掲載されており、その中の一つに、「子育て支援のネットワークづくり」という施策がある。具体的にどのように取り組むものなのか伺う。 	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度に景観形成の目標や方針等の基本的な考え方を景観計画策定等検討委員会で検討し、2025 年度に景観形成のルールや景観づくりを推進する体制、方策等の検討を進め、2026 年度に景観条例の制定及び景観計画を策定する予定。 ・開発における課題については、開発と周辺の景観について配慮が必要と認識している。市民ワークショップや景観計画策定等検討委員会においても、開発と景観の調和が必要とのご意見をいただいている。今後の検討委員会において、景観法に基づく届出制度や景観形成のルールなどの基準について、検討していく。 <p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズやまちづくりの課題を把握するため、昨年 9 月に市民意識調査を実施するとともに、本年 1 月には子ども会議を実施した。また、現在、庁内各部局において、総合計画の点検作業を行っている。今後、市民会議や地域関係団体との意見交換を実施し、市民等の意見を聴取するとともに、外部有識者からの意見や助言を得るため、総合計画推進委員会を開催する。見直しの経過について、市ホームページ等で公表し、市民と共有するとともに、パブリックコメントを経て、2026 年 3 月に決定する。 ・4 つのグループにそれぞれから優先して取り組むべきテーマを 3 つにまとめて提言いただいた。自然環境を大切にしていこうという意見や、交通機関に関する意見、子育て環境の充実に関する意見、また商業施設や病院など生活利便施設の充実に関する意見、観光など北広島市の魅力の発信に関する意見などがあつた。いずれの提言においても、子どもの視点から見たまちの課題や期待と捉えており、中間見直しの参考とさせていただきます。 <p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利に関する周知について、各学校を訪問してのリーフレット、子どもの権利ニュース等の配布、子どもの権利パネル展の実施や、本市独自で作成している「福祉読本」に子どもの権利に関する内容を掲載している。また、子ども会議の開催のほか、巡回子どもの権利相談を通して、児童センター等で子どもの権利についての周知に努めており、今後も継続して周知啓発に取り組むことが必要であると考えている。 ・市職員における子どもの権利の理解と認知について、職員向けに「こどもの意見表明・反映の推進のための研修資料」や、「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドラインを踏まえた取組の推進」、これらに関する資料を提供するなど、周知啓発に努めている。各部署において、子どもに関わる事業について検討する際は、アンケートや子ども会議を活用するなど、子どもたちに意見を聴きながら進めている。 ・現在策定を進めている北広島市こども計画の基本目標及び基本施策について、第 2 期計画に引き続き、大部分を法律に基づく行動計画策定指針に沿ったものとしており、こども大綱に合わせて変更となっていることから、これに合わせた変更を予定している。なお、本市には既に子どもの権利条例があることから、基本目標及び基本施策に子どもの権利に関する事項を追加している。 ・次期計画期間中において、新たに妊産婦や子育て世帯、子どもが気軽に相談できる子育て世帯の身近な相談機関として、「地域子育て相談機関」を整備することを検討している。足を運びやすい身近な相談機関として、子ども家庭センターを補完すること等を目的として整備するものであり、より一層子育て支援のネットワークづくりが推進されるものと考えている。

・北広島市こども計画について、子どもたちと子育てに有効なものとするため、子どもたちにも周知することが重要と考える。計画策定の際の、子ども版資料の作成、配布に関する取り組みについて、見解を伺う。

・子どもたちに周知するための子ども版資料の作成や配布について、現在子どもの意見がどのように計画に反映したかについて、子どもにフィードバックする資料の作成を進めている。また、各子ども・子育て関係機関へ、計画書及び概要版を配布する予定。